

# 令和5年度 きゅうり 技術情報 No. 4

大船渡農業改良普及センター（電話：0192-27-9918、FAX：0192-27-9936）

## ★管理のポイント

- ・ 8月以降はうどんこ病、褐斑病、炭疽病の増加に注意しましょう。
- ・ ホモフシス根腐病対策として靴カバーの着用などを徹底しましょう。
- ・ 天気予報に注意し、事前・事後の台風対策を実施しましょう。



## 1 8月～9月に注意が必要な病害虫

病害虫名	4			5			6			7			8			9			10		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
アザミウマ類(ハウス)	[発生時期]																				
ハダニ類	[発生時期]																				
アブラムシ類	[発生時期]																				
べと病	[発生時期]																				
うどんこ病	[発生時期]																				
黒星病・斑点細菌病	[発生時期]																				
炭疽病・褐斑病	[発生時期]																				

□:発生時期    ■:重点防除時期

## 2 病害虫防除のポイント

- (1) 草勢が弱まると病気にかかりやすくなるため、収穫終了まで**追肥、かん水**を継続します。追肥の目安は収穫 800 kg/10a ごとに窒素成分で2～3kg（窒素成分 15%の肥料では 20 kg）です。
- (2) **発病葉はできるだけ早く摘葉**し、効果の高い薬剤を**特別散布**しましょう。薬剤を選択する際には、「令和5年度 夏秋きゅうり特別散布農薬一覧」を参考にしてください。
- (3) 天気予報を参考に、**降雨前（感染前）に薬剤散布**を実施しましょう。降雨の前に薬液が乾けば、効果に影響はほとんどありません。

## 3 ホモフシス根腐病対策 **管内で発生が確認されています！**

- (1) 日中に**葉が萎れ**、夕方に回復する症状を繰り返すうちに、**下葉から枯れ上がります**。
- (2) 他の生産者の圃場を訪問する際は、**靴カバーの使用やビニール袋で靴を覆う**等、病原菌の拡大防止に努めましょう。

## 4 特別散布農薬（一部抜粋）

病害虫名	薬剤名	使用時期	使用回数	希釈倍数	備考
べと病	ベトファイター顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	3,000倍	
	ランマンフロアブル	収穫前日まで	4回以内	2,000倍	
	エトフィンフロアブル	収穫前日まで	4回以内	1,000倍	
褐炭斑痘病	ストロビーフロアブル	収穫前日まで	3回以内	3,000倍	他のQoI剤と合わせて2回以内。連用、止め散布に使用しない。
	ファンベル顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	1,000倍	他のQoI剤と合わせて2回以内。イミノクタジンを含む農薬（ベフドー水和剤）と合わせて7回以内。
褐斑病	セイビアーフロアブル20	収穫前日まで	3回以内	1,000倍	
	アリエッティC水和剤	収穫前日まで	3回以内	400倍	
うどんこ病	トリフミン水和剤	収穫前日まで	5回以内	3,000倍	
	モレスタン水和剤	収穫前日まで	3回以内	3,000倍	
	ショウチノスケフロアブル	収穫前日まで	2回以内	2,000倍	メパニピリムを含む農薬（フルピカフロアブル）と合わせて4回以内。
	カリグリーン	収穫前日まで	—	800倍	野菜類に登録。

令和5年8月2日の農薬登録情報に基づいて作成しています。

農薬の使用は、必ず容器のラベルで使用基準（適用作物、単位面積当たりの使用量や希釈倍数、使用時期、有効成分の種類ごとの総使用回数）や注意事項を確認し、農薬使用者が責任を持って使用してください。

## 5 台風対策

- (1) 天気予報を参考に、台風通過前に**ネットや支柱の強度を確認し、きゅうりを固定**します。
- (2) 台風通過後は、圃場内に**たまった水を排水し、殺菌剤を追加散布**します。**液肥を葉面散布**することで草勢が回復しやすくなります。

★**いわてアグリベンチャーネット** URL: <https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/>

岩手県からのお知らせに加えて、農業技術情報や病害虫に関する情報、各地域の情報など盛りだくさんです。ぜひご覧ください！！

★**6月1日～8月31日は農薬危害防止運動**

農薬を安全かつ適切に使用するために、農薬ラベルでの使用基準の確認、使用履歴の記帳を徹底しましょう。